

近年の社会環境の変化

人口減少・少子高齢化、気候変動と自然災害の激甚化・頻発化、社会を変えるデジタル技術の進化、ウクライナ情勢や円安等を背景としたエネルギー・食料品の価格高騰、国際的な供給不安の発生、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた動き など

北海道のポテンシャル

北海道には、これらの変化に立ち向かい、課題を解決するポテンシャルがあります。



高い
食料供給力



魅力的な
観光資源



豊富な
エネルギー・資源

食料安全保障、観光立国の再興、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて「他で代替できない北海道の価値」を最大化し、現下の国の課題解決を先導します。

北海道の地域構造

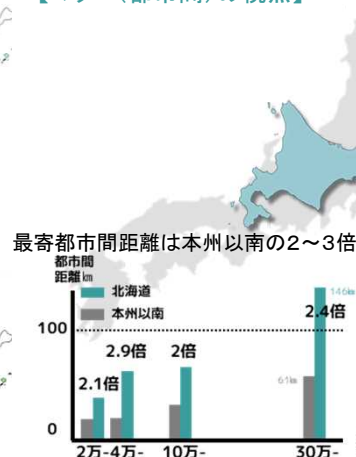
●北海道の価値を生む「生産空間」の分布



高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどの、北海道の価値を生み出す地域「生産空間」は主に地方部に存在しています。

●北海道の生産空間の構造的課題～定住環境の厳しさ～

【マクロ(都市間)の視点】



【ミクロ(集落内)の視点】

集落内居住は散在・散居形態が9割



計画の目標

計画期間:
2024年度からおおむね10年間

2050年の北海道の将来像

- 食、観光、脱炭素化等の北海道の強みを活かした産業が国内外に展開し、豊かな北海道が実現することで、我が国の経済安全保障に貢献している。
- デジタルの実装により、北海道内の地方部における定住・交流環境が維持されるとともに、国内外から人を魅きつける多様な暮らし方が実現している。

目標1 「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」

目標2 「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」

計画の進め方

○リアルとデジタルのハイブリッドによる北海道型地域構造の保持・形成

○計画の実効性を高めるための方策

官民の垣根を越えた「共創」 社会変革の鍵となるDX・GXの推進

フロンティア精神の再発揮 戦略的・計画的な社会資本整備



「他で代替できない北海道の価値」を最大化し、現下の国の課題解決を先導

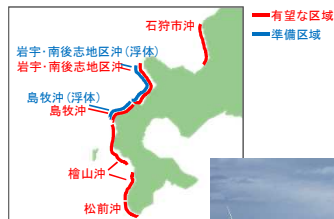
主要施策1

北海道のポテンシャルを活かし、我が国の豊かな暮らしを支える ～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道～

スマート農業導入による生産性向上



※ 北海道開発局は地方整備局の機能に加え、農業基盤整備を所掌



再エネ海域利用法に基づく洋上風力の区域状況



石狩湾新港洋上風力施設

主要施策

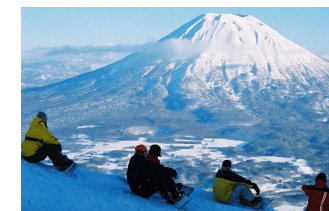
1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的发展
2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現
4. 地域の強みを活かした成長産業の形成
5. 自然共生社会・循環型社会の形成
6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興
7. アイヌ文化の振興等



半導体工場ラピダス(千歳市・イメージ図)
出典: Rapidus株式会社作成
作図協力 鹿島建設



宇宙開発(大樹町) (イメージ図)
出典: SPACE COTAN株式会社



観光資源JAPOW (Japan Powder Snow)



民族共生象徴空間ウポポイ(白老町)
誘客促進

北海道の価値を生み出す生産空間の定住環境を維持

主要施策2

北海道の価値を生み出す北海道型地域構造の維持 ～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり～

主要施策

1. デジタルの活用による生産空間の維持・発展
2. 多様で豊かな地域社会の形成
3. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成
4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり



AI活用によるインフラ維持管理の効率化
(北大情報科学院との連携)



対2024年問題対策「北海道物流WEEK」
(令和6年2月19日～22日)



教育委員会との連携
「ほっかいどう学」の展開



千島海溝地震による津波避難対策特別強化地域(39市町)



避難施設の計画・建設

高規格道路の整備促進